

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：高等学校費

目：学校建設費

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育学校費

目：学校建設費

事業名 校舎等改修費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課整備推進係 電話番号：058-272-1111(内8571)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,632,919 千円 (前年度予算額：3,385,384 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,385,384	68,584	0	0	0	0	0	2,980,600	336,200
要求額	4,632,919	350,589	0	0	0	0	0	3,867,500	414,830
決定額	4,632,919	350,589	0	0	0	0	0	3,867,500	414,830

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

<長寿命化>

- ・県立学校の校舎、体育館、武道場等施設は建設時期あるいは前回の改修時期から相当年数経過しているものが多い。
- ・屋上防水や外壁・庇のモルタルの劣化、床面等の内部劣化、配水管の水漏れ等を未然に防ぎ、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習生活環境を提供する必要がある。
- ・昨今の記録的猛暑を受けて、生徒の体調面での安全・安心を確保するため、老朽化した空調設備の更新を行う必要がある。
- ・学校施設の受変電設備は経年劣化により更新時期を迎えている。
また、受変電設備の「高圧真空遮断器（OCB）」、「変圧器（トランス）」、「コンデンサ」は製造年度によっては低濃度のPCBが含有している可能性があり、処理期限までに更新する必要がある。
- ・「水銀に関する水俣条約」に基づき、2027年末までに蛍光灯の製造・輸出入の終了が決定している。また、当県では「岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実行計画」により、2030年度までに全県有施設のLED照明導入率100%にすることとしている。上記の要因及び計画目標達成のために、学校施設の照明LED化を進める必要がある。

<その他>

- ・「岐阜県県有建物長寿命化計画」の対象外であるものの建築後25年を迎える建物は約1,500棟あるため、一度に改修を行うことは困難である。生徒の安全・安心の観点から、施設の利用頻度や老朽度を考慮の上、産振施設（温室、動物舎等）を改善する必要がある。
- ・特別支援学校の体育館においては、昨今の記録的猛暑を受けて、生徒の体調面での安全・安心を確保するため、学校現場の環境改善の一環として、空調設備を整備する必要がある。
- ・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が、平成28年4月に施行されたことに伴い、障がいのある生徒が県立高校へ進学する場合や県立高校に在籍する生徒が何らかの理由で障がいのある状態になった場合に、生徒に応じた合理的配慮をする必要がある。

<長寿命化・UD> 計：3,948,768千円

<その他> 計：684,151千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10/10
- ・国7.5/10（防衛施設周辺防音事業補助金を活用。工事種別：2級機能復旧工事）

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	515,401	実施設計（453,068） 工事監理（62,333）
工事請負費	4,090,729	
事務費	26,789	
合計	4,632,919	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策4 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
20 将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立学校の施設や設備を整備することで、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習生活環境を維持・向上させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R)	
						達成率
長寿命化校舎等 改修工事実施棟	-	11	7	7	-	-
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大垣養老高等学校の中動物舎等の改築を実施した。
	指標① 目標：1 実績：1 達成率：100%
令和 5 年度	<ul style="list-style-type: none"> <長寿命化> 【校舎等（屋上・外壁・庇等）改修、体育館改修】 工事…高等学校：9校9校舎 特別支援学校：2校2校舎 <その他> 【屋外便所改築、体育館空調新設、その他改修】 工事…高等学校：6校6施設 特別支援学校：4校4施設
	指標① 目標：11 実績：11 達成率：100%

令和6年度	<長寿命化> 【校舎等（屋上・外壁・庇等）改修、体育館改修】 工事…高等学校：7校7校舎 <その他> 【屋外便所改築、体育館空調新設、その他改修】 工事…高等学校：6校6施設 特別支援学校：1校1施設
	指標① 目標：7 実績：7 達成率：100%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県立学校施設は年々老朽化が進んでおり、学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供するために、学校施設や設備の整備に関する工事等は必須の事業であり、必要性は高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	学校施設や設備の整備に関する工事等を実施することで、県立学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供できている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	整備の緊急性や必要性を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで効率的に整備している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 校舎（産業教育振興校舎を除く）、体育館、部室等は劣化が進んでいるものが多いため、整備必要箇所は年々増加するものと考えられる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備の緊急性や必要性を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで効率的な整備を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	-
組み合わせる理由 や期待する効果 など	-